

平成27年度 小学生模擬議会



8月5日、市議会議場で「平成27年度 小学生模擬議会」を開催しました。市内各小学校から2人ずつ計16人が参加し、市政に対し新鮮味あふれるさまざまな質問が出され、市長および教育長が答弁をしました。

牛久市の将来を担う模擬議員の皆さんの質問、それに対する市長および教育長からの答弁の概要を紹介します。

問 市民活動課 ☎内線1632

男女共同参画について



いじま
飯島 わかな さん(牛久小学校)

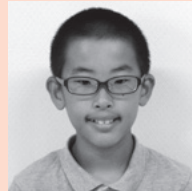
国会議員や裁判官といった職業に、女性が増えればよいと考えています。男女共同参画についての計画があるようですが、具体的にどのような内容で、どのような成果が出ていますか。

市長答弁:「女性管理職の積極的登用」など全部で174の具体的な事業を設定して各課で取り組んでいます。

牛久市職員の場合、課長補佐以上の女性管理職の割合が20.2%となり、県内44市町村中5位となっています。女性課長は5人おります。今後も性別にかかわらず、能力のある人材の積極的な登用を進めていきます。

女性も男性も安心して働くために、保育園や介護施設の新設整備や児童クラブの全学年受入、各種予防接種の補助等、子育て支援や介護支援を積極的に進めています。

授業でのタブレット学習について



こばやし そうた
小林 想大 さん(牛久小学校)

小学校でもタブレットを使用する計画はあるのでしょうか。また、タブレット学習を小学校に導入することで、どのようなメリットがあると考えているのか、教えてください。

教育長答弁: 来年度から小学校にもタブレットを導入します。メリットですが、牛久市の全校で進めている「学び合い」という授業の中で使うことにより、友達と学ぶことができ、より質の高い学習が期待できます。例えば、調べ学習でインターネットの活用が有効です。校内だけではなく、ネットワークを使って他校との交流を行うことも可能です。体育では、カメラ機能を使って、自分の動きを撮影し友達と比較しながら学習を進めることができます。タブレットを導入することにより、様々な学びの可能性が広がると考えています。

税金の使い方について



おかの まさひろ
岡野 真大 さん(岡田小学校)

公園の遊具や水道の数に違いがあります。公園だけに税金を使うわけにはいかないとは思いますが、市では、公園の整備や遊具の整備にどのくらい税金を使っていますか。

市長答弁: 小さいものから大きいものまで、市内には139カ所の公園があります。これらの公園には、平成26年度だけで約4億円、平成17年度から平成26年度までの10年間では、約34億円ものお金を費やし、整備や維持管理をしております。

それぞれの公園に何が足りないのか、何が必要なのかということについて、そこで実際に生活し、また、公園を利用している市民の皆さんの意見を聞きながら、今後も継続的に対応していきたいと考えています。

子どもたちが本に親しむようになるための取り組みについて



いしい みちこ
石井 路子 さん(岡田小学校)

中央図書館には子どもたちが読みたいような本が並んでいますが、どのように選んでいるのでしょうか。また、中高生が本への興味を持ち続けさせるために何かイベントを行っていますか。

教育長答弁: 司書という専門的に勉強した職員が、毎週購入する本を選んでいきます。利用者が図書館に置いてほしいという本や調べものに役立つ本などについても、選んで購入しています。また、中央図書館と学校図書館が連携して、授業に必要な本や個人でリクエストした本をお互い貸し借りできる「学校図書館ネットワーク」というしくみがあり、読書に親しみやすい環境を作っています。今後も、中高生の人たちが新たなジャンルの本に出会うきっかけを作ったり、本への興味を持ち続けてもらえるような本の購入やイベントを行っています。

かっぱ米について



やまおか まお
山岡 真緒 さん(奥野小学校)

井ノ岡町や島田町にある水田で「かっぱ米」を育てることはできますか。また、「かっぱ米」のPR活動はどのように行っていますか。今後、栽培農家を増やすことや販売数をあげていく予定はありますか。

市長答弁：河童米の制度は、水田を選んでオーナーになり、その田んぼから収穫したお米を、生産者がオーナーに直接手渡すという制度です。今はいませんが、井ノ岡町や島田町からも河童米を生産したいという農家が現れることを願っています。河童米のPRとしては、駅や市の施設、かっぱバスにポスターを掲示したり、広報うしくに記事を掲載したり、行政区で回覧などを行っています。安心安全でおいしいお米が食べられるよう、農家を応援し、今後もさまざまな取り組みを行っていきます。

牛久二中の増部について



いちのせ かいと
一瀬 快斗 さん(奥野小学校)

牛久二中の部活は他校より少ないです。これからの増部について教えてください。また、牛久二中の生徒数を増やすために行っている取り組みや、今後行う予定の取り組みはありますか。

教育長答弁：部員数や顧問となる先生方の人数などの問題があり、増部するのは難しい現状にあると思います。先輩たちは今ある部活動で熱心に活動し、心と体をきたえています。みなさんも、現在ある部活動に入部して新たな挑戦をしていってほしいと思います。牛久二中ではこうした問題に対応するために、地域の方々の協力で土曜日の夜、卓球をやる準備を進めています。吹奏楽部はOB会を結成して、牛久二中の部活動を応援しています。今後も、牛久二中の生徒数が増え、部活動が充実するよう努力していきます。

牛久市の小中学校での学習方法などへの取り組みについて



おかだ けいすけ
岡田 佳介 さん(牛久第二小学校)

学び合い学習を通して、どのような効果を期待しているのでしょうか。また8月に下根中学校で「学びの共同体国際会議」がなぜ牛久市で開かれるのか、それはどのようなものなのでしょうか。

教育長答弁：すべての子どもたちが、安心していられる「心の居場所づくり」と「学力向上」です。「学び合い」の授業は、世界で注目されています。市内小中学校全校が「学び合い」に取り組んでいる牛久市は、市外や県外、国外からも、たくさんの視察を受けています。また下根中学校は、世界で有名なイギリスのケンブリッジ大学の学術誌に取り上げられたこともあり、「学びの共同体国際会議」が開かれることになりました。「学び合い」を広げる世界中の大学の先生などが集まって開かれる会議で、世界中の「学び合い」について協議を行うものです。

家庭の教育力の向上について



ひらやま たいし
平山 泰至 さん(牛久第二小学校)

家庭の教育力を向上させるためにどんなことに取り組んでいるのか、具体的に教えてください。市のホームページに載っていた「子育て支援」や「家庭教育学級」などについても教えてください。

教育長答弁：社会福祉協議会を8つの小学校ごとに作って、新しい牛久のまちづくりを進める中で、地域のつながりや家庭の子育ての支援を通して「家庭の教育力の向上」を進めています。市のホームページではさまざまな子育て支援を紹介し、子育ての悩みを相談したりイベントなどの機会を提供しています。各学校にはPTAがありますが、児童クラブや放課後カップ塾では多くの地域の人たちの協力をいただいています。登下校には各地区や社会福祉協議会を中心に見守り隊ができ、地域とつながっています。こうした一つ一つが地域をつなぐとともに「家庭の教育力向上」に役立っています。

学校の改装等の計画について



ちば ほのか
千葉 帆夏 さん(中根小学校)

市内で改装が終わった学校は何校ありますか。下根中学校は、いつ頃を予定していますか。今後の計画とどのようなことを大切にして、改築工事を進めているのかも教えてください。

教育長答弁：大規模な改修を行った学校は9校で、ひたち野うしく小や牛久一中の校舎を除いては、下根中、牛久南中、神谷小などの改修が必要な時期にきています。下根中学校では平成28年度にいまの校舎の前に新しい校舎を増築する工事を行います。いまある校舎は、28年度から30年度にかけて、エレベーターの増設、トイレや給食室の改修、教室の改修などの必要な改修を行う計画です。グラウンドについても東側に広げ、テニスコートやバスケットコートなどを整備する計画です。給食室を広くして炊飯の設備を整えたり、いろいろな面に気を配って改修を行っていく予定です。

安全な生活基盤について



たけおか りょうや
武岡 諒也 さん(中根小学校)

踏切の工事は、どのような点に注意して行われているのでしょうか。また、道路などの交通機関の工事等はどのようなものがあり、どのような点を重視していますか。今後の工事等の計画があれば教えてください。

市長答弁：猪子踏切の工事を例にすると、猪子踏切は通学路となっているため、踏切を完全に通行止めにはせず、歩行者だけが通れる仮の踏切を設置し、通学路を確保しました。また、電車を止めることができないため、最終電車から始発電車までの限られた時間で工事を実施するなど、牛久市とJR東日本は何年も前から、踏切を通る人達と電車の安全を最優先とした話し合いをし、安全には十分注意をして工事を実施しました。これからの踏切の整備計画については、通学路となっている一厚踏切や神谷踏切なども歩道のついた安全な踏切となるよう、引き続きJR東日本と話し合いを進めていきます。

スクールアシスタントについて



あぜがみ ほのか
畔上 穂乃香 さん (向台小学校)

スクールアシスタントの先生にもっと多くの時間教えてもらうためにも、各学校のスクールアシスタントの先生を増やすことはできないのでしょうか。

教育長答弁:スクールアシスタントの先生を増やして欲しいとの希望があり、学校と教育委員会との間でよく相談した結果、必要であるとすれば増やすことはできます。しかし、先生やスクールアシスタントの先生ですべて対応できるわけではありません。みなさんが「学び合い」という授業をしているのも、友だち同士でお互いに教わったり教えたりしながら、学習できるようにって欲しいと願っているからです。まずは、担任の先生やスクールアシスタントの先生他、まわりの友達も大切にしながらみんなで学び合い、勉強が分かりやすくなったり、たくさん友達を作っていったりして欲しいと願っています。

ゆるキャラによる広報活動について



いしい てるゆき
石井 照之 さん (向台小学校)

市では「かっぱのキューちゃん」を使ってどのような観光PRをしていますか。そして、これからどのようなところで使っていこうと考えていますか。

市長答弁:キューちゃんは笠間市や小美玉市、埼玉県羽生市などで開催されたイベントに参加するなど、牛久市をPRしてきました。これからも市内外で観光PRに取り組んでまいります。そしてこの程、新しく牛久市の公式キャラクターとして登場したのが「ラーシク」です。市のホームページやフェイスブック、広報うしくや市からのお知らせの他にも、コミュニティFMの番組表や、ちゃんみよインターネットテレビなどで、皆さんにお会いすることが決まっています。着ぐるみのラーシクも、早くみなさんにお会いできるように準備を進めています。

障がいのある人の働く場について



まつだ はるちか
松田 悠央 さん (神谷小学校)

牛久市内に住む障がいのある方は、どれくらいいて、どんな場所で仕事をしていらっしゃるのか。また、牛久市役所で働いている障がいのある方はどんなことをされていますか。

市長答弁:市では、3,291名の方が手帳を交付されていて、市の人口84,549人からみると、約4%の方が障害者手帳を持っています。障がいのある方が働いている場所については、会社や市役所、スーパーや工場などさまざまです。牛久市の小・中学校のみなさんが食べている給食のパンは牛久産の小麦を使って、障がいのある方が牛久市内の訓練施設で作っているものです。また牛久市役所で働いている障がいのある方は5人です。仕事の内容としては、窓口での手続き説明、市の施設の利用受付や設備を整えることなどです。会社などに就職するのが難しい方については、専門の施設でパンを作ったり、布を織ったり作業訓練を行っています。

自然環境に関する政策について



ひろた なお
廣田 菜桜 さん (神谷小学校)

市では、ゴミの減量や資源化を徹底し、効率的に収集・処分しているようですが、具体的にはどのようなことをしていますか。取り組みについて教えてください。

市長答弁:市では現在、燃えるごみ、燃えないごみ、粗大ごみ以外に8種類、11品目の資源物を収集し、紙やペットボトル、空き缶などのリサイクルを行っています。刈谷行政区で家庭から出た生ごみを回収し、堆肥を作り、行政区の方へ再び返す「生ごみ堆肥化事業」を行っています。また、使い終わった小型電子機器製品から、リサイクルできる希少な金属が含まれた20品目を回収しています。また、廃食用油を回収し、BDFと言われるバイオディーゼル燃料を作っています。処分されてしまう間伐材や廃材を木質ペレット燃料に加工し、BDF燃料と共にエネルギーの地産地消を進めています。

土曜日授業について



さとう たける
佐藤 武 さん (ひたち野うしく小学校)

土曜日授業があると、習い事や市の土曜カップ塾、家族と過ごす時間などの機会が減ってしまうのではないのでしょうか。これからの牛久市では土曜日の授業をどのように考えていますか。

教育長答弁:牛久市では参加希望者に対して行う土曜学習なので、参加、不参加は全く自由です。学校の欠席扱いにもなりません。心配されているような、お稽古事への影響もありませんし、土曜日の休みもなくなりません。また、中学校では土曜日に部活動があるので、今のところ、「土曜カップ塾」を行う予定はありません。

土曜学習の目的は、地域や学校に子どもたちが学べるさまざまな場所をつくらうとするものです。休みの日などに地域の活動に参加して、より充実した生活を送れるよう、教育環境を整えていきたいと考えています。

防犯カメラの設置について



たなか さほ
田中 咲羽 さん (ひたち野うしく小学校)

「防犯カメラの設置状況」について現在と今後の対応についてお聞きしたいと思います。また、防犯カメラで撮影された映像の利用や管理はどのようになっていますか。

市長答弁:平成27年6月末時点で、牛久市には434基の防犯カメラが設置されています。主な設置場所は、牛久駅やひたち野うしく駅、駅前輪場、小中学校、市役所および出張所、公園などの公共施設です。8カ所の公園が残っていますので、今後はそれらの施設に順次設置していきます。また、主要道路や住宅地などにも市民からの要望が多く寄せられているため、警察と協議しながら、カメラ設置を進めます。映像の利用や管理・画像の保存期間は、市の規則に基づき、2週間以内です。本人請求においても所定の手続きが必要であり、誰でも見られる状況にはありません。